



2023年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月14日

上場会社名 アジアクエスト株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4261 URL <https://www.asia-quest.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 桃井 純
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 外谷 悠一郎 (TEL) 03-6261-2701
 四半期報告書提出予定日 2023年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)
 (百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第2四半期の連結業績 (2023年1月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	1,471	18.5	139	△27.1	139	△28.2	91	△29.6
2022年12月期第2四半期	1,241	—	191	—	194	—	129	—

(注) 包括利益 2023年12月期第2四半期 98百万円(△26.9%) 2022年12月期第2四半期 135百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	62.21	61.63
2022年12月期第2四半期	90.73	87.43

(注) 2021年12月期第2四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、2022年12月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第2四半期	2,173	1,291	59.5
2022年12月期	2,151	1,193	55.5

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期 1,291百万円 2022年12月期 1,193百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年12月期	—	0.00	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の連結業績予想 (2023年1月1日～2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,304	26.5	417	13.7	413	12.5	275	18.7	187.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年12月期2Q	1,468,800株	2022年12月期	1,468,800株
② 期末自己株式数	2023年12月期2Q	49株	2022年12月期	49株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年12月期2Q	1,468,751株	2022年12月期2Q	1,431,603株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症による社会経済活動の制限が緩和され、景気回復の兆しが見られたものの、世界的な金融引き締めが続く中、物価上昇や供給面での制約に加え金融資本市場の変動等により、先行きは依然として不透明な状況が続いております。一方、情報サービス産業におきましては、ビジネスモデルの変革や新規ビジネスを創出するためにデジタル技術を活用するデジタルトランスフォーメーションの流れが引き続き力強いものとなっており、企業のIT投資は全体として底堅く推移しました。

このような環境の中、当社はお客様のデジタルトランスフォーメーションを支援するデジタルインテグレーターとして、お客様のデジタルトランスフォーメーションを共に考えるコンサルティングから、必要なデジタル技術を駆使したシステムの設計、開発、運用までの一貫したソリューションを具体的に提案することに引き続き努めました。また、採用活動等のデジタル人材確保に向けた取組みを積極的に推進しました。デジタル人材確保の取組みは順調に進捗し、エンジニア数は増加しましたが、大口案件の開始時期延期等に伴い第2四半期は稼働率が低下し、人件費率が上昇しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は1,471,710千円(前年同四半期比18.5%増)、営業利益は139,486千円(前年同四半期比27.1%減)、経常利益は139,893千円(前年同四半期比28.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は91,381千円(前年同四半期比29.6%減)となりました。

なお、当社グループはデジタルトランスフォーメーション事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて17,179千円増加し、2,028,040千円となりました。これは主に、売上拡大により売掛金及び契約資産が11,913千円増加したことによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べて4,413千円増加し、145,118千円となりました。これは主に、従業員数の増加に伴うPC等への設備投資等により有形固定資産が3,877千円増加したことによるものであります。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べて21,593千円増加し、2,173,159千円となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて45,352千円減少し、580,005千円となりました。これは主に、納税により未払法人税等が37,752千円、未払消費税等が18,282千円減少したことによるものであります。固定負債は、前連結会計年度末に比べて31,915千円減少し、301,196千円となりました。これは主に、借入金の返済進捗に伴い長期借入金が31,968千円減少したことによるものであります。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比べて77,268千円減少し、881,201千円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて98,861千円増加し、1,291,957千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により利益剰余金が91,381千円増加したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ605千円減少し、1,561,664千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、67,201千円の収入（前年同四半期は39,208千円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益139,893千円等の資金の増加があった一方、法人税等の支払額85,192千円等の資金の減少があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、18,985千円の支出（前年同四半期は14,157千円の支出）となりました。これは主に、従業員数の増加に伴うPC等への設備投資として、有形固定資産の取得による支出17,928千円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、57,684千円の支出（前年同四半期は55,193千円の支出）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出56,598千円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期の業績予想につきましては、2023年2月13日の「2022年12月期 決算短信」で公表いたしました連結業績予想から変更はございません。

なお、当該業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因により異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,562,269	1,561,664
売掛金及び契約資産	408,449	420,362
仕掛品	6,232	3,551
原材料	1,231	998
その他	32,678	41,464
流動資産合計	2,010,861	2,028,040
固定資産		
有形固定資産	75,696	79,573
無形固定資産	7,077	6,525
投資その他の資産	57,931	59,019
固定資産合計	140,705	145,118
資産合計	2,151,566	2,173,159

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	34,352	39,228
1年内返済予定の長期借入金	135,402	110,772
未払金	129,472	152,498
未払法人税等	97,627	59,875
賞与引当金	45,312	51,515
その他	183,190	166,115
流動負債合計	625,357	580,005
固定負債		
長期借入金	323,487	291,519
退職給付に係る負債	6,875	9,000
その他	2,750	677
固定負債合計	333,112	301,196
負債合計	958,470	881,201
純資産の部		
株主資本		
資本金	409,474	409,474
資本剰余金	361,478	361,478
利益剰余金	419,385	510,766
自己株式	△195	△195
株主資本合計	1,190,142	1,281,523
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	2,953	10,433
その他の包括利益累計額合計	2,953	10,433
純資産合計	1,193,096	1,291,957
負債純資産合計	2,151,566	2,173,159

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
売上高	1,241,991	1,471,710
売上原価	640,405	756,978
売上総利益	601,585	714,732
販売費及び一般管理費	410,237	575,246
営業利益	191,348	139,486
営業外収益		
受取利息	495	435
助成金収入	1,181	-
為替差益	4,442	1,494
その他	18	539
営業外収益合計	6,137	2,469
営業外費用		
支払利息	2,610	2,062
その他	7	-
営業外費用合計	2,618	2,062
経常利益	194,867	139,893
税金等調整前四半期純利益	194,867	139,893
法人税、住民税及び事業税	64,552	50,517
法人税等調整額	424	△2,005
法人税等合計	64,976	48,512
四半期純利益	129,890	91,381
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	129,890	91,381

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	129,890	91,381
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	5,323	7,480
その他の包括利益合計	5,323	7,480
四半期包括利益	135,214	98,861
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	135,214	98,861
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	194,867	139,893
減価償却費	17,469	18,719
受取利息及び受取配当金	△497	△438
支払利息	2,610	2,062
売上債権の増減額 (△は増加)	△34,781	△9,164
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△5,761	2,914
その他の資産の増減額 (△は増加)	△2,806	△10,352
仕入債務の増減額 (△は減少)	△5,205	4,875
未払金の増減額 (△は減少)	△1,600	23,026
未払費用の増減額 (△は減少)	△10,410	△5,442
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△19,363	△18,282
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	771	1,070
その他の負債の増減額 (△は減少)	△2,281	6,692
その他	△5,497	△1,555
小計	127,513	154,018
利息及び配当金の受取額	497	438
利息の支払額	△2,610	△2,062
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△86,192	△85,192
営業活動によるキャッシュ・フロー	39,208	67,201
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△13,857	△17,928
無形固定資産の取得による支出	△300	△1,056
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,157	△18,985

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△2,919	-
長期借入金の返済による支出	△53,309	△56,598
株式の発行による収入	1,800	-
自己株式の取得による支出	△195	-
リース債務の返済による支出	△570	△1,086
財務活動によるキャッシュ・フロー	△55,193	△57,684
現金及び現金同等物に係る換算差額	9,163	8,862
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△20,980	△605
現金及び現金同等物の期首残高	1,489,494	1,562,269
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,468,514	1,561,664

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

当社は、デジタルトランスフォーメーション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。